

くれたことも、とても嬉しく感謝の思いです。

忘れられないのは、開催初日から続いた二日間の熱気と、充実したためまぐるしさと、気持ちの高揚感…、これまた貴重な経験で、滅多にない、何とも言えない興奮を覚えました。エンディングでの感動もまたひとしおでした。次回の東日本圏GSFが、とても楽しみになっております。

このように盛り沢山にいろいろなサービスが続いた僅か1年半あまりの任期でした。役割に追われているうち、実に学ぶことも多くて、IT用語や情報技術、ことに数年で普及したオンラインの活用技術も大いに学ぶ必要が生まれたりしました。そして、これらが次々と続いていくうちに、またたく間に役割を手放す日が訪れた、という感じです…。

折しもコロナ禍が始まっていて、世の中は、これまでとは一変していました。AAでの会議はすべてオンラインで、従来のJSOに集まり行う常任理事会等の会議を一度も経験しないままに、退任のときがやってきました。

常任理事としての役割も、メンバーとの交流も、その80%以上はオンラインでおこなってきたような感じです。しかしながら、意外にも回数は多くて、それなりに中身は濃かったような気がしています。

常任理事会での担当は、第2分科会で、BOX-916と、矯正・保護施設でした。BOX-916では、編集委員会と、916 頒促委員会のオンライン会議が、毎月それぞれ、一回ずつ開かれて、毎回、学ぶところも多くて、意義ある感触でした。ほかにもフォーラムや研修会も数多く、全てオンラインでしたが、けっこうたくさん参加できました。

オンラインの普及と常任理事会メンバーのおかげで、ステッピング・ストーンズ(<https://www.steppingstones.org>)のツアーも参加できましたし、アメリカ・カナダのオンラインイベント PRAASA2021 (Pacific Region A.A. Service Assembly 2021)にも参加できました。また、西日本圏GSFにはアメリカ・カナダの常任理事やGSO所長もビデオでご参加を頂きました。さらに、先日の常任理事会にはアメリカ・カナダのA類、B類の常任理事、そしてAAワールドサービス社のディレクターと、なんと、5人もご参加頂きました。このように、仲間の力強い奉仕とオンラインの普及によって、一気に国際的になってきていることを感じています。

日本 AA も、そして日本の常任理事会も、確実に成長している、と確信しています。これから、ますます社会にむけてAAの活動内容を伝え、AAをもっと知っていただき、一人でも多くのアルコールの命が、そして人生が救われることを願います。

関係者の皆様、私たちAAの仲間、ほんとうにどうもありがとうございました。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

※星WSM評議員退任の挨拶、及び小谷理事(全国選出B類常任理事、2022年2月8日付)着任の挨拶は、2022年4月1日より着任される理事会メンバーの挨拶と共に、次回209号に掲載いたします。(ニューズレター編集委員会)

■第27回評議会(2022年2月5~7日)を終えて

-+--*+-*-*+-*-*+-*-*+-*-*+-*-*+-*-*+-*-*+-*-*+-*-*+-*

全ての議題が尊重され大切に扱われている

第1分科会議長 石田(東関越地域選出評議員)

私は2008年6月初めてAAミーティングに参加しました。約9ヶ月の連続飲酒の果てに辿り着いた会場は、蛍光灯すら私の部屋のものとは違うのではないかと思うほど明るかったのを覚えています。初日こそ夜飲んでしまいましたが、翌日またミーティングに行き、仲間に提案されるままにグループ、スポンサーを決め、会場での役割も教わりながら一つ一つ経験させていただきました。やがて代議員として分割前の関東甲信越地域集會に参加し、その人数とエネルギーに圧倒されたのが私とゼネラルサービスの出会いでした。その後地区や地域の役割を与えていただく中で、身近な仲間たちが評議員になっていきました。その背中を見ながら「いつか自分も…」と、漠然とした希望があったのを覚えています。

願いは叶えられ、2021年7月東関越地域前期評議員に選出いただきました。その年の暮れに送付されてきたずっしりと重い議題。聞きしに勝るその量と内容に「どうすれば良いのだろう」と茫然としました。

議題と取り組むうちに次々疑問が湧き、読むほどにわからないことが増えていき、評議会が近づくにつれ不安になっていきましたが、数回の勉強会をオンラインで開いていただき、また事務局の皆様御尽力に支えられ当日を迎えることができました。

評議会では第1分科会を担当しました。分科会及び全体会議を通して感じたことは、全ての議題が尊重され大切に扱われているということでした。私の頭を疑問符でいっぱいにした議題も、様々な方向から念入りに検討され個人のエゴとは遠く離れた場所で吟味されていきました。

評議会の最後、全員で平安の祈りを唱和した時(私は子供時代も飲んでいて頃も滅多に泣かないし泣けなかったのですが)涙が出ました。オンライン開催ではありましたが事務局の皆様を始め多くの仲間を支えられてこの場にいられることに感謝が溢れました。これからも愛とサービスの輪の一部として尽くしていきたいと思っております。ありがとうございました。

手渡されたことの幸せ、手渡していく責任

第2分科会議長 曾根(中部北陸地域選出評議員)

評議会での審議に参加する不安を先行く仲間に伝えたら、概念

3の決定権を読むよう提案されました。自分の良心に従って行動(投票)することができないロボット評議員では任されたしもべとはほど遠い、と書かれており、真剣に審議して自分の意見を持つことの大切さと、その結果を持ち帰り仲間にきちんと伝えることの責任について分かち合いの時間を頂いてから評議会に臨みました。

AAに来て間もなくの頃、人と違う意見を言うのが苦手な周りに合わせてしまう(でも勝手に行動する…)私が経験した印象的な出来事があります。先行く仲間同士の「真剣な喧嘩？」です。ミーティング前、いつも穏やかで仲良く見えるお二人が激しい言い争いを始めなぜか周りも止めないのでビビりながら聞いていました。定員に達し締切ったイベントに追加参加を認めるか否かという内容でどちらの言い分にもなるほどと思う所があり、でもこんなに真剣に喧嘩するなんて何で？と知っているうちに時間通りミーティングが始まり言い争いもピタッと終わったことに驚きました。もっと驚いたのは、帰り道ではいつもの穏やかで楽しいお二人だったことです。その時ふと気付きました。自分は退院直後のラウンドアップで繋がれたけれど誘われたタイミングは締切りをとうに過ぎていたはずで、自分の知らないところで大勢の仲間たちの苦労があった結果なのだと。先行く仲間の新しい人への思いの深さを感じ、自分が飲まないでいるだけでは足りないのだという思いに至りました。同時に、こんな喧嘩ができるくらい真剣にAAのことを考えられる日が自分にも来るのかしら、と思ったことを鮮明に憶えています。この衝撃的な経験が、その後に私がサービスに関わるようになった原点だったと思っています。

評議会に参加して、事前の勉強会から仲間の真剣な熱量がオンラインでも感じられ度々感動を覚えました。また、今までお会いすることがなかった常任理事のみなさまのお人柄に触れることができ、AAのサービスに真摯に取り組まれる「奉仕の姿」を見せて頂きました。大切なものを「手渡されている」と確かに実感した感謝の3日間でした。

この度、第二分科会議長という貴重な機会を頂きました。誠心誠意努力し、楽しみ、手渡されたものをしっかり次の人に手渡していけるよう責任を担っていきたいと思います。

愛と希望と素晴らしいパワーを感じ最終日は感動で

第3分科会議長 高尾(九州沖縄地域選出評議員)

評議会は、昨年のオブザーバー参加しか経験がなく不安もあつ

たのですが、AAはスポンサーやサービススポンサーを持つというしっかりとしたサポートシステムがあることで、飲まないで生きる上でも役割を担う上でもとても助けられています。

評議員となり暫くすると、JSOより分厚い書類の束が送られてきましたが、その分厚い書類に目を通して内容がいまいち理解できないのです。どうしようと困り果てましたが、オンラインで事前にその背景や理由を学ぶ評議員勉強会があり、深く理解をすることができました。

今年も評議会はオンライン形式で開催されたのですが、評議会当日に評議員が困らないよう裏方の事務局やテクノロジー担当の方々と共に、事前にデバイスの操作方法、議事の進行、発言の仕方、採決の取り方、などのレクチャーがありました。評議会を支える方々のお蔭で、評議会当日は議案を含め何一つ憂慮することがありませんでした。愛と希望と素晴らしいパワーを感じ最終日は感動で涙が溢れました。

さて、日本では2020年1月上旬から新型コロナが感染拡大し、社会生活状況が一変しました。もちろん、日本だけではなく世界中で会場に集まりミーティングを開催することが困難になりました。

そのような中、3月上旬から私のホームグループであるなごみグループでは、会場が使えない時はインターネットを使ったミーティングをすることになりました。オンラインミーティングで一番困ったことは「献金の方法」でした。取り敢えず、個人献金に切り替えました。あれから2年が過ぎ、グループのオンラインミーティングではキャッシュレス決済を活用しグループ献金の呼びかけが出来るようになりました。

今、時代は大きな転換期を迎え、インターネットでいとも簡単に他国のAAメンバーとも交流を深められるようになっていきます。

今年は、オンラインでPRAASA2021という、アメリカとカナダの太平洋広域AAサービス集会に出席させていただきました。カナダ在住の仲間が通訳をして下さり、他国のサービスに関わるメンバーの経験を分かち合う機会に恵まれとても有意義な時間でした。

日本の評議会でもPRAASA2021でも感じたのは、まだ苦しんでいる仲間にAAの「経験と力と希望」をどう伝えていくかという温かい愛情でした。

地区や地域の皆様にきちんと評議会の議案について報告ができるよう、また、AAや社会の役に立つ人間になれるよう精進して行く所存です。どうぞ、よろしくお願い致します。

編集：ニューズレター編集委員会・発行：NPO法人AA日本ゼネラルサービス

〒171-0014 東京都豊島区池袋 4-17-10 土屋ビル 3F Tel:03-3590-5377 Fax:03-3590-5419

<http://www.aajapan.org> jso-1@fol.hi-ho.ne.jp

(月～金)10:00～18:00 (土・日・祝) 休